

日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2021決定。



及び
特別賞受賞品種のご紹介
切花部門 / 鉢物部門 / ガーデニング部門

アジサイ「月虹」

■ 「いい花の新基準」。ジャパンフラワーセレクション

ジャパンフラワーセレクション (JFS) とは、「いい花の新基準。」を合言葉に、業界初の統一的な品種コンテストとして2006年春からスタート。

国内外の新品種の中から、消費者に本当に推奨できる優れた品種を選定しています。

各審査会で受賞品種のなかから、フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）や、ベスト・フラワー（優秀賞）、各種特別賞を選定しています。

フラワー・オブ・ザ・イヤー <i>Flower of the Year</i>	モーストジョイ 特別賞	ニューバリュー 特別賞	グッドパフォーマンス 特別賞	カラークリエイト 特別賞	ニュースタイル 特別賞	
ベスト・フラワー <i>Best Flower</i>	フレグランス 特別賞	ジャパンデザイン 特別賞	ライフデザイン 特別賞	ブリーディング 特別賞	フォトジェニック 特別賞	モニター 特別賞



いい花の新基準。

<http://www.jf-selections.net/>

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内
TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp

ジャパンフラワーセレクション2021-2022 審査会の開催状況

■切花部門

審査会名	審査日	審査対象品種
春審査会	審査日：2021年5月11日（火） 会場：横浜市役所 市民協働推進センター	37品種
秋審査会	審査日：2021年11月1日（月） 会場：大田市場花き部内（株）大田花き	13品種
切花部門 合計		50品種

■鉢物部門

■鉢物部門

審査会名	審査日	審査対象品種
春審査会	審査日：2021年5月11日（火） 会場：横浜市役所 市民協働推進センター	43品種
秋審査会	審査日：2021年11月30日（火） 会場：大田市場花き部内 （株）フラワーオークションジャパン	15品種
鉢物部門 合計		58品種

■ガーデニング部門

審査会名	審査日 (会場は千葉大学環境健康フィールド科学センター)	審査対象品種
冬春審査会	審査日：（第1回） 2021年 3月中旬 （第2回） 2021年 4月20日（火） （第3回） 2021年 5月25日（火）	3品種
春審査会	審査日：（第1回） 2021年 4月20日（火） （第2回） 2021年 5月25日（火）	1品種
夏審査会	審査日：（第1回） 2021年5月25日（火） （第2回） 2021年6月29日（火） （第3回） 2021年8月 3日（火）	22品種
夏秋審査会	上記夏審査会の第1回～3回に加えて 審査日：（第4回） 2021年9月 9日（木） （第5回） 2021年10月12日（火）	5品種
ガーデニング部門 合計		31品種

審査会の様子



切花部門春審査会の様子



鉢物部門春審査会の様子



ガーデニング部門屋根付き施設での審査の様子



ガーデニング部門露地花壇での審査の様子

■ローズフェアwith趣味の園芸と同時開催した春審査会では、一般のお客様を迎えての展示公開を行いました。



春審査会会場での一般公開の様子

御協力いただいた審査員の先生方

部 門	審 査 員 名
切花部門	穴戸 純 (株) 大田花き 商品開発部 部長 〈部門長〉 石黒 康二 (株) フラワーオークションジャパン 切花部 営業9課 課長代理 大根 秀夫 (株) 千政 代表取締役 小泉 吉寿 (株) 白楽花園 チーフデザイナー 細谷 宗令 元千葉県農林総合研究センター 増田 篤 (株) 日比谷花壇 東日本バンケット事業部
鉢物部門	長岡 求 (株) フラワーオークションジャパン 専務取締役〈春審査会部門長〉 平田 隆明 (株) フラワーオークションジャパン 取締役〈秋審査会部門長〉 岡部 幸一 (株) 大田花き 営業本部 第二グループ グループリーダー 尾崎 明弘 (株) オザキフラワーパーク 代表取締役 香取 邦枝 第一園芸(株) 商品販売事業本部 店舗事業部 部長 小池 安比古 東京農業大学 農学部 バイオセラピー学科 教授 向原 潤 (株) ディノス・セシールフラワーネット本部 フラワーネット事業部 EC/事業推進ユニット チーフ
ガーデニング部門	山本 岳史 豊明花き(株) 企画本部外商部 次長 〈部門長〉 尾崎 明弘 (株) オザキフラワーパーク 代表取締役 杉井 志織 はなぐみ 代表 村上 智弘 (株) フラワーオークションジャパン 鉢物部 部長 山口 まり 日本ハンギングバスケット協会 理事 渡辺 均 千葉大学環境健康フィールド科学センター 教授
中央審査委員会	中央審査委員長 安藤 敏夫 切花部門長 穴戸 純 鉢物部門長 平田 隆明 ガーデニング部門長 山本 岳史

ジャパンフラワーセレクション2022-2023の審査会開催予定

切花・鉢物部門

■春審査会（開催場所調整中）

開催日：2022年5月11日（水）

*詳細は決まり次第ジャパンフラワーセレクションのホームページ上「WHAT'S NEW」に発表いたします。

■秋審査会（大田市場での開催を予定）

開催日：2022年10月～11月頃

*決まり次第、ジャパンフラワーセレクションのホームページ上「WHAT'S NEW」に発表いたします。

ガーデニング部門（千葉大学環境健康フィールド科学センター）

■春審査会*冬春審査も受付中（植え込み開始しています）

募集締切：2022年1月末頃を予定

植栽開始：2月～3月頃（定植の適期をご相談ください）

審査：4月～5月頃

■夏審査会・夏秋審査会

募集（一次）締切：2022年2月末頃を予定

植栽開始：3月～5月頃（定植の適期をご相談ください）

審査：期間中3回程度（5月、7月、9月頃を予定）

NEW !

2022年の「春審査会」の日程が決まりました！

次回切花部門・鉢物部門の「春審査会」は、
2021年「春審査会」と同じ会場「横浜市役所 市民協働推進センター」で
「F&Gジャパンセレクション」（主催：公益社団法人日本家庭園芸普及協会）
との合同で開催が決まりました。
ご出品ご希望の方はご準備をおすすめてくださいますようお願い申し上げます。

開催日程

審査日：2022年5月11日（水）

展示公開（一般公開）：2022年5月12日（木）～15日（日）

写真は2021年「春審査会」会期中の展示の様子



NEW !

ガーデニング部門の審査圃場をリニューアルしました。

2022年度の出品を募集を開始しております。

植え付けの適期を事務局までご相談ください。

■栽培観察・審査場所：千葉大学環境健康フィールド科学センター

◆「ガーデニング部門」出品募集中！

定植時期や、観察希望期間、出品料について詳しくはご相談ください。
2022年の冬春審査の定植を開始しております。2022年度のガーデニング部門へご出品をご検討中の方は、早めにご相談ください。



新しくなった露地花壇の様子。

いつ頃から苗を植えられる？搬入はどこに、どのように？審査の期間はどのように決めればいい？など、
出品に関するお問い合わせは、jfpc@jfpc.or.jp へ！

ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



1. フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。
各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会で決定します。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。
各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。
なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあるだけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

これまでに比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでにない価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパニデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあるだけで日々の生活を楽しみさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

「フォトジェニック特別賞」

写真を活用した情報発信やコミュニケーションをしなくなるような写真映えの良さを持つ品種に授与されます。

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1～3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません)
ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。
JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRにご活用ください。



切花部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2021

株式会社ミヨシ トルコギキョウ「チアライトピンク」



受賞者：株式会社ミヨシ（山梨県）

ホームページ：<http://www.miyosi.co.jp/>

育成者：足立 浩崇

育成者権者：株式会社ミヨシ

審査講評：

丸みを帯びた花弁にフリンジが入り、開花した花形がきれいに見える。花弁数が多く豪華だが、開いた際の花弁と花弁の絶妙なスペースによって重すぎず軽やか。2番花、3番花があまり開かずにくしゃくしゃとしぼんでしまうようなことがなく美しさを長く保つ。

置き場所によってはくすんで見えがちな落ち着いたピンクだが、蛍光灯下でもきれいに発色する点もセールスポイント。業務需要の現場からもリクエストの多いタイプである。枝吹きも良好で枝数も確保しやすいとのことで、生産性も高い。

非常にバランスよく考えられたお勧めできる素晴らしい品種。



■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】

フリンジ咲きのライトピンク品種の中で、最も発色の綺麗なライトピンクを目指して開発された品種です。丸弁フリンジの重ねの良い花型も本品種の特徴で、今までのトルコギキョウに無い唯一無二の花型です。

【開発の面白さ・今後の展開など】

トルコギキョウは国内外で様々な作型が存在し、求められる品種も多様です。そうしたニーズを汲み取って形にしていく過程が、品種開発の面白さだと思っています。今後はチアシリーズの追加色をリリースできるよう、品種育成を進めていきます。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔カラークリエイト特別賞同時受賞〕

トルコギキョウ「コサージュ（NF）ソニック」（株）ナカソネリシアンサス



受賞者：（株）ナカソネリシアンサス（長野県）

育成者：中曽根 健

育成者権者：中曽根 健

審査講評：黄緑色とくすんだ紫の複色が印象的な大輪フリンジ八重品種。黄緑色、紫色それぞれ微妙グラデーションになっており、それぞれの色の混ざり具合と相まって何通りもの表情を見せる。

存在感の大きい品種ではあるが、グリーン系の色とのコンビネーションのため、複色でも他の花との色合わせもしやすいところも評価された。枝ぶり、ボリューム、花卉の厚さ・強健さについても申し分なかった。ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイト特別賞を同時受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】黄緑色に滲んだ紫が不規則に入る、着物の模様の様な和風トルコギキョウです。過去にもこの色の組み合わせ販売したことがありますが、市場からは暗いと言われ全く売れませんでしたので、今回も売れないと判断して展示会の後にボツにする予定でした。しかし、展示会に訪れた若い花屋さんが皆、私の一押し品種を差し置いて、このソニックを大絶賛していましたので、急遽販売となった品種です。

【開発の面白さ・今後の展開など】異なった色の親をかけ合わせるF1品種ですので、この品種のように自分の想像力の外にある品種が突然出来上がることが楽しい。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔フォトジェニック特別賞同時受賞〕

バラ「ミッドナイトセブンスター」（有）たなまち園芸場



受賞者：（有）たなまち園芸場（福岡県）

育成者：棚町 満

育成者権者：棚町 満

審査講評：コロンとキュートなシャローカップ咲き、甘めのピンク色、動きのある柔らかい枝から咲くたくさんの中輪の花、誰にも好まれる要素が詰まった見事な品種。品種名の「ミッドナイトセブンスター」は、見た目の印象と少し違うかという意見もあったが、「暗闇の中で明かりを照らすと淡く幻想的な色になる」ということに由来しているのかもしれない。ベスト・フラワー（優秀賞）とフォトジェニック特別賞を同時受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】小型のシャローカップ咲きのスプレーバラで、優しいピンクの花色をしています。暗闇の中で灯りを照らすと淡く幻想的な色になります。また、中輪で扱いやすく、花茎のしなやかさは、動きのあるブーケにも適しています。セブンスターローズの枝変わりであり、真夜中の暗闇でも美しく照らす光となるように名付けました。

【開発の面白さ・今後の展開など】育種は、期待通りの品種がなかなか発現しないときもありますが、「必ず良い品種がでるだろう」と思って交配を続けています。期待して育種をすることで、自然と植物は変化してくれるようです。育種は長い年月がかかりますが、選抜したり、交配の方法を変えたり試行錯誤しながら、前向きに育種を行っています。今後も、仕事に関わる方、花屋さんや消費者の意見や考え方に触れ、満足して使っていただけるバラを作っていきたいです。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔カラークリエイイト特別賞・モニター特別賞（秋）同時受賞〕

トルコギキョウ「アンバーダブル®（2型）ショコラ」（株）サカタのタネ



受賞者：（株）サカタのタネ（神奈川県）

ホームページ：http://www.sakataseed.co.jp

育成者：森 一俊

育成者権者：株式会社サカタのタネ

審査講評：琥珀（コハク）を思わせるようなシックな色みの「アンバー」シリーズの新色。フリンジが入る花弁は硬くツヤがあり、厚みがあることから花もちのよさが期待できる。チョコレートと思わせる個性的なブラウンカラーは、つぼみから開花までの色のグラデーションが美しい。側枝が長く、扱いやすい。中生タイプで汎用性の高い作型とのことで、このような色みのトルコギキョウが秋に出荷できることは強みになるだろう。ベスト・フラワー（優秀賞）とカラークリエイイト特別賞を受賞。市場関係者と買参人の人気投票で1位となり、モニター特別賞（秋）も同時に受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】「アンバー®」シリーズは、光沢感のあるグリーン系、ブラウン系などのユニークな花色に加え、花弁が厚く、輸送性、花持ちがよいのが特徴です。現場の声として、薄めのブラウンでフリルがかった花形の品種開発の強い要望を頂いたため、栽培しやすさをも考慮し本品種を育成しました。

【開発の面白さ・今後の展開など】国内消費のみならず海外にも輸出され、海外でも「アンバーダブル®（2型）ショコラ」を喜んで使っていただいているという話を耳にしました。世界中のフローリストからの要望に応え、より花の大きい品種や、花色の濃淡などさまざまなバリエーションを増やしていきたいと思います。

ニュースタイル特別賞

アスター「ブリリアン レッド」（出品時の仮称TA980）タキイ種苗（株）



受賞者：タキイ種苗（株）（京都府）

ホームページ：http://www.takii.co.jp

育成者権者：タキイ種苗株式会社

審査講評：一輪の見応え・ボリュームが見事。開花が進むごとに厚みが出て、立体感を増す様子は、キクの「芸」を見ているかのよう。艶と深みのある赤色で、さらに高級感を増している。栽培特性についてはフザリウム属菌に対する耐性が高くなっている。

アスターの域を超えたゴージャス感。今後の色展開にも期待が高まる。ニュースタイル特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】アスターの枠を超えた、新たな花型かつ栽培性を兼ね備えた品種育成を目標に開発をスタート。アスターの仏花需要だけでなく、ブーケ・アレンジメントにも適する様に使われる用途を広げる事を目標に育成している。

【開発の面白さ・今後の展開など】シリーズの花色の追加をしていき、ニーズに合った品種、用途の拡大に向けた新たな品種の創出に力を入れていく。

ジャパンデザイン特別賞

キク「セイシャンベリー」イノチオ精興園(株)



受賞者：イノチオ精興園(株)(広島県)
ホームページ：<https://www.seikoen-kiku.co.jp>
育成者：石黒康平 宮口徹
育成者権者：イノチオ精興園株式会社
審査講評：キクには珍しいさわやかなピンク・ラベンダー系のカラーリング。弁先のランダムな切れ込みや、縁に入る濃い色の入り方もキュート。開花時の花卉の動きなどディテールも楽しい。
ダリアのような華やかさを持ち、キクの利用を広げてくれるような品種。ジャパンデザイン特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】従来の「菊」というイメージとは違う、「マム」という育種に軸足を置いたカテゴリーでの開発の中で生まれました。最初に出会った時、ピンクに縁取られた花卉が美しく、とても柔らかな印象を受けました。中間的な雰囲気があるので花屋さんでの使い勝手が良いかと思えます。

【開発の面白さ・今後の展開など】伝統的な「菊」の美しさも継承しながら、新しい品種を生み出していくことが大事だと考えております。長年脈々と受け継がれてきた育種の血筋を理解して、温故知新を大事に今後も精進していきたいと思えます。

ジャパンデザイン特別賞

キク「セイロツサ」イノチオ精興園(株)



受賞者：イノチオ精興園(株)(広島県)
ホームページ：<https://www.seikoen-kiku.co.jp>
育成者：石黒康平 熊田 謙久
育成者権者：イノチオ精興園株式会社
審査講評：非常に発色の良いリッチな赤色、輪の大きさのバランスが良く、色々なシーンでの利用が期待できる品種。デコラ咲きだが、咲き進むと少し下がり気味に開くので、コロンとしたキュートさが増してくる。
春審査会への出品だったが、赤系の濃い色味は、季節的には秋からの人気が高まりそう。需要期に生産が合わせやすければさらに良い。ジャパンデザイン特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】キクには様々な色や花型のものがありますので、その中から今まであまり見たことがないものを出していこう！というのがコンセプトとなっている品種です。夏場の色抜けが少なく、重陽の節句時期から出荷ができます。深い赤色でダリアの代わりにも使えます。

【開発の面白さ・今後の展開など】セイロツサのような花形は種を採るのも非常に大変です。そして種を採るところから名前が付くところまでの選抜にも非常に長い年月がかかります。名前がついて、多くの人に見てもらえることが感慨深く、このような場でお披露目することが出来てとても嬉しく思います。

ライフデザイン特別賞

キク「クシーノ」(株)デリフロールジャパン



受賞者 : (株)デリフロールジャパン(静岡県)
ホームページ : <https://www.deliflor.co.jp/>
育成者 : Arie Gerard Post
育成者権者 : Deliflor Royalties B.V.
審査講評 : 優しい雰囲気のアプリコット色。春には明るい色と併せてナチュラルな雰囲気を楽しめ、秋からはダークな色と併せて季節感を出せるなど、使いやすく、おしゃれ感の出せる万能カラー。単体でも美しく、消費者の生活への取り入れやすさが評価され、ライフデザイン特別賞を受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】「美しいキク」ではなく「美しい花」を作り出したいという想いのなかで、巡り合った逸品です。暑い季節にはサーモンがかったイエローオレンジ、寒い季節にはオレンジとサーモンピンクのバイカラーとなり、季節に応じて個性豊かな表情を見せてくれます。

【開発の面白さ・今後の展開など】キクに対するこれまでのイメージを変えていくことは、簡単なことではありません。だからこそ私たちは、新たなキクの可能性を探る努力を惜しみません。これからも常識にとらわれない、魅力あふれる品種との出会いを求めて、一步一步愚直に花づくりを進めてまいります。

フォトジェニック特別賞

ダリア「キセキ」(株)ミヨシ



受賞者 : (株)ミヨシ(山梨県)
ホームページ : <http://www.miyosi.co.jp/>
育成者 : 天野良紀
育成者権者 : 株式会社ミヨシ
審査講評 : 鮮明な白色の大輪品種。白色品種はフォーマルデコラ咲き品種が多い中、めずらしいセミカクタスの大輪。ネーミングにもインパクトあり。ブライダルはもちろん、用途にあった場で、この存在感を生かしたい。茎は細くはないが硬く、花もちも良かった。近づいて見る花卉の質感、中心部のうっすらグリーン～白の立体感、尖った花卉の凛とした雰囲気、どれも写真に収めたくなる魅力満載。フォトジェニック特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】純白の花色でのセミカクタス品種はめずらしく、貴重な存在であり、品種の性能も非常に高く、花持ちも秀でていたことから白八重の新ジャンルとなると感じました。

【開発の面白さ・今後の展開など】純白のセミカクタスの花型は大変コージャスで存在感があります。用途問わず幅広い場面での展開を考えており、この品種をキーとしてより一層ダリアのステータスをあげていこうと思います。

ニューバリュー特別賞・ブリーディング特別賞

デルフィニウム「F1ビジュラベンダーサファイア」(株)ミヨシ



受賞者 : (株)ミヨシ (山梨県)
 ホームページ : <http://www.miyosi.co.jp/>
 育成者 : 坂口公敏
 育成者権者 : 株式会社ミヨシ
 審査講評 : スプレータイプのデルフィニウムの八重品種。茎の硬さもしっかりあり、枝分かれが深い位置からあるので切り分けでも使えるが、風が吹き抜けるような軽やかな草姿の美しさとボリューム感をぜひ口の広い花器で楽しみたい。日にちが経っても花弁がパラパラと散らないのも飾りやすくおすすめできるポイント。
 デルフィニウムのニュースタンダードとなりうる品種。ニューバリュー特別賞、ブリーディング特別賞をダブル受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】主要のグランディフローラム系の品種は一重咲きで、花を活けた際に影ができず、花の立体感に欠ける点を改善したいと考えていました。また、一輪でもきれい、と思える花型を目指しました。八重咲きにする事で、切り花鑑賞中に受粉しにくくなるため、花持ち性の向上も期待しました。

【開発の面白さ・今後の展開など】一重咲きとは遺伝様式が異なることを解明し、品種開発に活かすことができました。さらに八重咲き品種は採種が困難ですが、うまく採種する技術を生み出すことに成功しました。今後は、一重咲きと同じ花色幅を用意していきます。

カラークリエイト特別賞

カーネーション「ユカリスクーロ」カネコ種苗(株)



受賞者 : カネコ種苗(株) (群馬県)
 ホームページ : <http://www.kanekoseeds.jp/>
 育成者 : Selecta Cut Flowers S.A.
 育成者権者 : Selecta Cut Flowers S.A.
 審査講評 : ピンク・ラベンダーの中間色と、品よく入った濃い絞りのバランスが美しい、近年人気のカラーリング。キュートにも、シックにも色合わせのしやすいピンク色で、アレンジメントの主役になる万能カーネーション。カラークリエイト特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】すでに弊社が販売していたユカリという極淡いライラック地に紫ストライプの花色の品種より花色がライラック地に紫のストライプに変化した枝変わりが発見されました。ユカリ同様婚礼や小売りで使いやすい花色とされたため、商品化を決定しました。

【開発の面白さ・今後の展開など】ユカリは枝変わりが出やすい品種で、ユカリスクーロを含めて弊社は現在6品種のユカリシリーズを販売しています。同じ花形で違う花色のもので、セットで使いやすいです。今後もさらに違う枝変わりが出てくることと思われますので、ご期待ください。

グッドパフォーマンス特別賞

トルコギキョウ「ジュリアスブルー」カネコ種苗(株)



受賞者 : カネコ種苗(株)(群馬県)
 ホームページ : <http://www.kanekoseeds.jp/>
 育成者 : 北爪 伸英
 育成者権者 : カネコ種苗株式会社
 審査講評 : 強いフリンジが立体感を添えるジュリアスシリーズの濃紫色の品種。品種名はフランス語で「豪華」を意味する「ラグジュアリス」に因む。鮮やかなブルーパープルは、審査後の展示会場でひととき来場者の目を惹いた。一見暗く見えるが、色々な種類の光源に美しく映える。グッドパフォーマンス特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】弊社のフリンジ咲きユーストマのジュリアスシリーズは、豪華でボリュームのある花形が人気で、葬儀や婚礼を中心とした業務の現場で多く用いられています。ジュリアスブルーは同シリーズの濃紫タイプとして、花卉に光沢があり、且つ花焼けの発生が少ない品種を目的として開発を行いました。

【開発の面白さ・今後の展開など】育種目標を設定してから品種が完成し、販売に至るまで最低でも7~8年の年月を要しますが、近年は環境の変化で新たな病害抵抗性等の特性が求められることがあり、そこが難しく、且つ面白いところです。ジュリアスブルーは高温期を経過する作型では花卉数が減少しますので、夏~秋出荷でも花卉数の安定したフリンジ咲き品種の開発を行っていきます。

グッドパフォーマンス特別賞

トルコギキョウ「プリマ1型ラベンダー」タキイ種苗(株)



受賞者 : タキイ種苗(株)(京都府)
 ホームページ : <http://www.takii.co.jp>
 育成者権者 : タキイ種苗(株)
 審査講評 : 人気の青系ラベンダー色の早生大輪品種。フリンジが強いが、重さを感じさせない透明感がある。光によっては、花卉がパールシルバーがかった見えたり、フリンジによってできる影の濃淡で花型の立体感が増えて美しかった。フリンジ品種の中では、分枝も良く栽培しやすく改良が進んでいる点も、評価のポイント。グッドパフォーマンス特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】強フリンジで且つ、栽培しやすい品種の創出により、ラベンダー色の魅力を広げられるような品種育成を目標に開発をスタート。生産者や需要者に受け入れて頂く様に花型や花卉の強さ、栽培性を特に重視して育成した。

【開発の面白さ・今後の展開など】評価いただいているプリマ1型ラベンダーの花型や栽培性を他の花色や草晩に付与し、シーズン通して、安定的な品質で出荷して頂く様に品種改良を進める。

フォトジェニック特別賞

トルコギキョウ「ボヤージュ (2型) タイプ ライトピンク」(株) サカタのタネ



受賞者 : (株) サカタのタネ (神奈川県)
ホームページ : <http://www.sakataseed.co.jp>
育成者 : 森 一俊
育成者権者 : (株) サカタのタネ
審査講評 : 大輪、美しいフリンジ状花弁のボヤージュシリーズ。花姿のすばらしさはもとより、栽培特性にさらなる改良が加えられた最新版のライトピンク系品種。ベージュとピンクのグラデーションが美しく、よりソフトな印象で、ブライダルシーンでの利用の他にホームユース向けにもおすすめしたい。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】「ボヤージュ®」シリーズはフリンジがかった豪華な花型から好評を頂いていますが、高温期栽培ではチップバーン、低日照期はプラスチングを起こしやすいなどの欠点もありました。そこで、これらの欠点を改良すべく育種を進め、加えて花色も日本人好みのライトピンクにしてみました。

【開発の面白さ・今後の展開など】大輪フリンジ系の品種は概してロゼット、チップバーン、プラスチングなどのいわゆる生産者泣かせの性質を併せ持つ品種がいまだに多いです。これらを一つつ改良し、消費者のみならず生産者にも喜んでいただける栽培しやすい品種開発を進めたいと思います。

グッドパフォーマンス特別賞

カスミソウ「ピュアホワイト」株式会社ミヨシ



受賞者 : (株) ミヨシ (山梨県)
ホームページ : <http://www.miyosi.co.jp/>
育成者 : 田中 敦
育成者権者 : (株) ミヨシ
審査講評 : 分枝の角度が鋭角で、花首も詰まったカスミソウの新品種。絡みにくく茎も折れにくく、栽培時にも生花店でも作業性に優れる。

鋭角な分枝によって、上部に花が集まりやすいので、ブーケやアレンジでの使いやすさもアップしている。

グッドパフォーマンス特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】低温期にも花と花の間が開きにくく、ぎゅっと詰まって白さが映える品種です。収穫やアレンジなどでの作業性向上を考慮して、分枝が鋭角で、枝にしなりがあり、折れにくい特性を持たせました。

【開発の面白さ・今後の展開など】開発過程では一見ダメそうな系統もたくさん出てきます。その中から可能性がある系統を見つけ出すことが、個性的な品種につながっていきます。国内の農業を取り巻く諸環境が厳しさを増す中で、美しさだけでなく、農家の生産性や利益性の向上につながる品種展開を目指していきます。

ライフデザイン特別賞・ブリーディング特別賞

ユリ「ピリカ」横浜植木（株）



受賞者：横浜植木（株）（神奈川県）
ホームページ：<http://www.yokohamaueki.co.jp/>
育成者：竹田 義
育成者権者：横浜植木（株）
審査講評：

無花粉一重の小輪品種。香りも少ない。
無花粉となることで飾れるシーンがより広がり、需要が見込まれる。

無花粉である上に、ほどよいサイズ感、やさしいピンク色など、ブーケにもアレンジにも使いやすい点が評価された。1本でも様になり、たくさんでも飾りやすく、ホームユースもшыやすくライフデザイン特別賞受賞。



■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】大輪のユリは一般家庭で使うには花が大き過ぎるため、小さな花束や花瓶に使いやすいホームユースに適した、小輪咲きで葯の除去に手間のかからない無花粉の品種育成を目指してきた。栽培面では、球根生産性に優れ、育てやすいことも育種の目標にしている。

【開発の面白さ・今後の展開など】無花粉のユリは、子房側も不稔のものから高い稔性をもつものまで個体差が大きい。花の表現型とともに稔性の遺伝が興味深く、無花粉個体が高確率で出現する素材と手法を獲得することができた。多彩な花色をもつ、無花粉小輪咲きの品種群の育成を目指している。

フレグランス特別賞

バラ「アロマティーク」（有）はなぞの野呂高原内 今井ナーセリー



受賞者：（有）はなぞの野呂高原内 今井ナーセリー（広島県）

育成者：今井 清
育成者権者：堺 美和子
審査講評：

濃いピンク色のロゼット咲き大輪品種。ダマスクモダンの濃厚な香りが印象的。

花色、香り、花型とも、人を魅了する要素たっぷり。来場者のほとんどが、この香りにひきつけられて一歩近づいて花を楽しんだ。
花の香りの魅力を改めて感じさせられる品種。フレグランス特別賞受賞。



■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】トワパルファンを母親にイブピアッチェを父親にして香りの強い品種の育成をめざした交配を行い、希望通りの品種が育成できた。

【開発の面白さ・今後の展開など】香りの強い花もちの良い品種の育成をめざして育種を行っていきが、10月で1ヶ月以上の花持ちがある品種が育成できたので希望をもって育種しています。

モーストジョイ特別賞

バラ「グレナデンローズ」(有)たなまち園芸場



受賞者 : (有)たなまち園芸場 (福岡県)
育成者 : 棚町 満
育成者権者 : 棚町 満
審査講評 : ザクロを思わせる鮮明で濃いピンク色。カップ咲きだが、まるでシャクヤクのような従来のバラにはあまり見られないような表情を見せる。
枝ぶりはやや暴れ気味かという意見もあったが、花茎の柔らかさ、コロンとした花の丸みを生かし、スイングするようなブーケや表現にはぴったり。
モーストジョイ特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】カップ咲きのスプレーバラで、ザクロを思わせる鮮やかでありながら、やさしいピンクの花色です。花の大きさは中輪で扱いやすく、花茎のしなやかさは、動きのあるブーケにも適しています。ダリアやガーベラなど他の大型の花の引き立て役に使っていただきたいと思います。

【開発の面白さ・今後の展開など】育種は、期待通りの品種がなかなか発現しないときもあります。「必ず良い品種ができるだろう」と思って交配を続けています。期待して育種をすることで、自然と植物は変化してくれるようです。育種は長い年月がかかりますが、選抜したり、交配の方法を変えたり試行錯誤しながら、前向きに育種を行っています。今後も、仕事で関わる方、花屋さんや消費者の意見や考え方に触れ、満足して使っていただけるバラを作っていきます。

カラークリエイト特別賞

バラ「パブロヴァーズ」やぎバラ育種農園



受賞者 : やぎバラ育種農園 (静岡県)
ホームページ : <http://yagibara.i-ra.jp/>
育成者 : やぎバラ育種農園
育成者権者 : やぎバラ育種農園
審査講評 : やぎバラ育種農園の「ヴァーズ」シリーズの新色。トレンドのくすんだピンクとヴァーズ独特の花型がマッチ。バラのかわいらしさやエレガントな魅力だけでなく、シックなかつこよさや力強さなども表現された独特の存在感。
ゆっくりと安定して開花し、日々魅力を増す。日持ち性も高い。トゲは多い。カラークリエイト特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】シュエルヴァーズの枝変わり品種です。

【開発の面白さ・今後の展開など】1輪で絵になるバラArt Rose アールローズ (芸術のバラ) 作りを目指して育種しています。

フレグランス特別賞

バラ「Pretty KARENN」（有）はなぞの野呂高原内 今井ナーセリー



受賞者：（有）はなぞの野呂高原内 今井ナーセリー
（広島県）

育成者：今井 清

育成者権者：櫻井花代子

審査講評： 中心部がピンク、外側に行くにしたがって淡いピンクになる花弁、優しい雰囲気シャローカップ咲き。香りはフルーティの強香。

外花弁と内花弁の開花に多少のタイムラグがあったかもしれないが、つぼみからでもよく開花し、きれいに咲き切った。展示期間中、香りが続いて来場者を魅了し続けた。フレグランス特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】香りに強い淡いピンクの花色の花を育成することを目指して交配したが、生産性が良く蕾からでも美しいシャローカップに咲ききる品種ができた。

【開発の面白さ・今後の展開など】この品種は思いがけず樹勢が大変強く発根が大変早いので台木に使用することができるのではないかと考え数十品種のバラで試験をしている。

グッドパフォーマンス特別賞

バラ「ROUGE TIQUE」（有）はなぞの野呂高原内 今井ナーセリー



受賞者：（有）はなぞの野呂高原内 今井ナーセリー
（広島県）

育成者：今井 清

育成者権者：堺 美和子

審査講評： 草姿のバランス、花色、葉色、葉の艶まで整った品種。トゲが少なく、花束にする際の作業性もよい。

半剣弁高芯咲き、波状弁、花弁のリッチなテクスチャー、暗すぎず格調高い黒赤色は、令和の「赤バラ」としての魅力を兼ね備えている。病気にも強く、良品率が高い。グッドパフォーマンス特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】とげが少なくうどん粉病に強く花持ちの良い品種を目指して育種を行ったが、希望通りの品種の育成ができた。令和の赤いバラになるよう普及していく。

【開発の面白さ・今後の展開など】花首短く照葉でとげが少なくうどん粉病に強い品種の赤いバラができたので、今後はどう普及していくか努力していきたい。

ジャパニデザイン特別賞

キク「スケーター」(株) デリフロールジャパン



受賞者 : (株)デリフロールジャパン (静岡県)

ホームページ : <https://www.deliflor.co.jp/>

育成者 : Arie Gerard Post

育成者権者 : Deliflor Royalties B. V.

審査講評 : 鮮やかで爽やかなグリーン。満開時14 cmほどにもなる迫力のある大輪花。インパクトある主役級の存在感のキクとして大変見ごたえのある品種。

花弁の先端が緩やかにカーブ、少しずつ表情を変え、厚みを増しながら咲き進み、見事なボリューム感を見せる。

茎はしっかりと曲がりが少ない。葉が大きいので、花とのバランスを考慮するとさらによいだろう。ジャパニデザイン特別賞受賞。人気投票では第3位に入賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】茎の硬さ、花揃いの良さ、生産性にも優れ、安定した栽培が可能な品種です。鮮やかなライトグリーンの花は、満開時には15cm前後のサイズになります。そよ風の流れを感じさせるような動きのある花弁が、心地よい空間を演出してくれそうな魅力的な花です。

【開発の面白さ・今後の展開など】時代の変化とともに、栽培方法から販売、花の用途まで、花業界を取りまく環境は進化を続けています。その流れに乗り遅れないためには、常にその方法を見直し、更新していく努力を怠らないことが大切だと考えます。効率的、且つ持続的な発展ができるよう、視野を広く持ち続けたいと思います。

ライフデザイン特別賞

キク「ポワルブラッシュ」(株) デリフロールジャパン



受賞者 : (株)デリフロールジャパン (静岡県)

ホームページ : <https://www.deliflor.co.jp/>

育成者 : Arie Gerard Post

育成者権者 : Deliflor Royalties B. V.

審査講評 : 温かみのあるローズピンクの花色で、アースカラーなど自然を感じさせる色味とも相性よく、秋のアレンジメントにも向くスプレータイプのキク。花弁数が多く、咲き進んでさらに可愛らしさが増す。早生で開花が早く、安定性も高い。草丈の揃いがよく、茎が硬く曲がりが少ないという点は、生産の面でもメリットが大きい。フォーメーションが良く、切り分けてアレンジメントに利用しやすく、また、ホームユースにも向くことからライフデザイン特別賞受賞。上手なアピールに努めたい。人気投票では第4位に入賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】ポワルは、ボリューム感や揃いの良さから、すでに好評を得ている品種であり、さらなる花色の展開が期待されていました。新たに誕生したカラーは、温かみのあるローズピンク系のニュアンスが可愛らしい色です。どんな花とも合わせやすい色味で、花弁と緑芯とのコントラストも秀逸です。

【開発の面白さ・今後の展開など】シリーズ展開を広げるうえで、微妙な色合いの変化や花形の違いを見極めて、新たな品種として送り出すまでの過程は、私たちにとって心躍る時間でもあり、時に挫折を味わう時間でもあります。その繰り返しの中で誕生したこの花が、多くのお客様の手に届くことを願っています。

ニューバリュー特別賞

キク「レドニック」(株) デリフロールジャパン



受賞者：(株)デリフロールジャパン(静岡県)

ホームページ：<https://www.deliflor.co.jp/>

育成者：Arie Gerard Post

育成者権者：Deliflor Royalties B.V.

審査講評：純白の大輪デコラマム。中心部がほんのりグリーンに染まり、清らかな印象。花弁の重なり、整った花形も美しく、輪ギクの代用として使用しやすい。早生で生育が周年安定しており、耐暑性も高く、低温期でもアントシアニンの影響が出にくいという栽培特性をもつ。また、フラワーダイイング(染め)にも向いている品種ということで、サンプルを確認した。純白の為、染めた色が美しく出やすいこと、水の吸い上げが良く短時間で染まること、従来染まりにくいダークな色味も入りやすいとのこと。サンプルでは、さらに美しいグラデーションが出ていることも認められた。

新しい花の楽しみ方を提案できることから、ニューバリュー特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】夏の暑さに強く、且つ、寒い季節にも安定した栽培が可能で、生産性が抜群です。開花も早く、伸びも良いので、栽培期間を短くおさえられ、ハウスの回転率アップが期待できます。また、この花は染めに適しており、色とりどりに染まった鮮やかな大輪の花たちは、圧巻の美しさです。

【開発の面白さ・今後の展開など】より良い生産環境づくりに何かしらの貢献が可能な品種を世に送り出すことができれば、私たちにとってこの上ない幸せです。栽培期間を短縮し、暖房費等を抑えたり、農薬使用回数を減らすことができれば、生産コストの削減が期待でき、人や環境に優しい農業も実現可能になります。

ブリーディング特別賞・モニター特別賞(秋)

オキシペタルム「オルキブルー」カネコ種苗(株)



受賞者：カネコ種苗(株)(群馬県)

ホームページ：<http://www.kanekoseeds.jp/>

育成者：徳弘 晃二

育成者権者：カネコ種苗株式会社

審査講評：過去に受賞した同社のオキシペタルム「シェンブルー」よりブルーの発色が濃くなっており、よく目を惹く。高温期でも発色がよく、退色しにくい点も高評価。丸みのある花弁に濃いブルーの車型の花冠もポイントになっている。

「高知県で発見された小惑星『おるき』のように『いつもここにおるき、頑張りよ』と応援してくれるような花」というネーミングエピソードが面白い。

開花が早く、草丈が伸びやすく採花本数が多いのも魅力的。

ブリーディング特別賞受賞。市場関係者と買参人の人気投票で1位となり、モニター特別賞(秋)も同時に受賞。



■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】弊社の既販売品種であるシェンブルーは高温期に褪色しにくいという優れた特性を持っていますが、開花がやや遅く、草丈も短めですので、その点を改良し、またシェンブルーより濃い青色の品種の開発を目指しました。

【開発の面白さ・今後の展開など】オキシペタルムは人工交配が難しい品目で、狙った特性を持つ個体を選抜するのに苦労します。そのような中で、オルキブルーのような品種を開発できたのは幸運でした。今後は他の色の開発も行っていきたいと思っています。

フレグランス特別賞

バラ「SPプリューム」(有)はなぞの野呂高原内 今井ナーセリー



受賞者： (有)はなぞの野呂高原内 今井ナーセリー
(広島県)

育成者： 今井 清

育成者権者： 今井 清

審査講評： フルーティの強香が魅惑的な大輪系スプレー品種。カップ咲きからカップ&ソーサー咲きに咲き進む優しげな花容・花色とが、香りのイメージにマッチしている。

とげがほとんどなく、扱いやすい。花卉の薄さがやや気になったが、はかなげな優しい雰囲気もまた魅力の一つ。フレグランス特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】香りの強いスプレーバラの育成をめざして交配を行ったが、香りと大輪なのに輪付が良い画期的な品種が育成できた。

【開発の面白さ・今後の展開など】今までにない香りが強く大輪でスプレー率が高い画期的な品種ができたのでこれを交配親に使用して色のバリエーションを増やしていきたい。



受賞者：久留米花卉園芸農業協同組合（福岡県）

ホームページ：<http://www.kurume-kaki.or.jp/>

育成者：坂本和盛

育成者権者：久留米花卉園芸農業協同組合

審査講評：わずかにウェーブがかった細長い装飾花は個性的で丈夫。一花ずつ覆輪の幅が異なり、従来のアジサイにはない躍動感と豪華さを感じさせる。花色の変化とともにがく型から徐々に手まり型へと展開し、長期間観賞できる。特にグリーン～白～ブルーのグラデーションは新規性に富んだ魅惑的なカラー。見れば見るほど独創性が際立つ素晴らしい品種。



■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】形質としては八重手毬覆輪を目標にし、贈答品として送った際に愛好家だけでなく、老若男女問わず、簡単に長期間鑑賞できるように装飾花が次々と咲きほこる、より強く、より美しい品種をコンセプトとしております。

【開発の面白さ・今後の展開など】目標通りの品種を作ることは難しい。交配したとしてもうまくことは少ない。しかし、思いがけず自分の想像を超えてできたものが、周りの人達を感動させ、その声が自分に返ってくる。これが育種の面白さだと思う。今後はもっと多くの人の目に感動を届けられよう栽培技術をみがいていきたい。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔ニュースタイル特別賞、カラークリエイイト特別賞同時受賞〕

クレマチス「華川」長谷川園芸



受賞者：長谷川園芸（茨城県）

育成者：長谷川 康平

審査講評：白とグリーンのグラデー

ションが爽やかで美しい、セミダブルの品種。ボリュームのある花芯は珍しい糸状の花弁で名前にふさわしく、その美しさと繊細さをより一層引き立てる。よく揃っていて仕立ても美しく、ギフト商材としても期待できそう。同系統の品種と比べて生育旺盛、多花性。ニュースタイル特別賞、カラークリエイイト特別賞 同時受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】華川は、2012年開催の「フリアード」で金賞受賞の北浜の枝変わり品種です。花付きが良く、コンパクトにまとまり、なおかつ生育旺盛（育てやすい）な性質を持つ北浜の特長そのままに、一重咲きでシンプルであったものから、花弁が糸状に変化し可憐かつ繊細な優しさを持つ花形の品種となりました。

【開発の面白さ・今後の展開など】日本のクレマチスの需要が母の日ギフトを中心となっているので、今よりも遅咲きとなる品種の改良を目指したいと思っています。また、華川の育種コンセプトを継承しつつ、カラーバリエーションも増やしていきたいと考えています。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔ブリーディング特別賞同時受賞〕

クレマチス「はる うらら」陽光園



受賞者：陽光園（福島県）

育成者：高玉恵治

育成者権者：高玉恵治

審査講評：

高級感のある八重咲き品種。紫かがったピンクな花色は、ややスモーキーで落ち着きある色。ギフトにも向くだろう。多花性だが、パテンス系品種のため一季咲き。鉢物としてはもう少しゆったりと仕立てた方が、ひとつひとつの花の美しさが引き立つのではないだろうか。旧枝咲きとしてはコンパクトで、ガーデンでのパフォーマンスにも期待できる。ブリーディング特別賞 同時受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】鉢物向きのコンパクトで花つきの良い完全八重咲き品種です。ファッション界で近年流行のヌードカラーに近い色合いが出現しました。

【開発の面白さ・今後の展開など】本来の目標は、鮮やかな紅色の完全八重咲き品種の実現です。長年交配を繰り返してもなかなか覆うようには出てくれません。今回の品種は、その過程で出現したものです。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞同時受賞〕

アジサイ「いろは」豊明花き(株)

受賞者：豊明花き(株) (愛知県)
 ホームページ：<http://www.toyoake.or.jp/>
 育成者：高橋康弘
 育成者権者：木下直則

審査講評：赤から濃ピンク色に咲き進む様子が大変美しく、黄褐色へと花色の変異が楽しめる。萼片が厚く花持ちがよい。花束のように見える草姿で、手まり型とはまた違うボリューム感を醸す。四季咲き性が強く、側枝の開花も見込める。従来品種に比べ、低温に当たってから開花するまでの期間が約1か月早く、軽い加温で開花するため低コストで生産可能。グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞。



ベスト・フラワー（優秀賞）〔モーストジョイ特別賞同時受賞〕

アジサイ「パラソルロマン」栃木県

受賞者：栃木県
 ホームページ：<https://www.pref.tochigi.lg.jp/>
 育成者：菊地 直美、小玉 雅晴、田邊 雄太、
 船山 卓也、寺内 信秀

育成者権者：栃木県

審査講評：白から淡ピンク色のグラデーションが、非常に美しい装飾花をもつ手まり型の八重咲き品種。また、装飾花は大輪で数も多く、ボリュームのある花序をつくり豪華だが、重すぎない八重とパステル系の色目のためふんわり軽やか。側枝がよく分枝し、4月初旬に挿し木して2回ピンチすると、1株でも花数が多く、完成度の高い製品を生産することができる。モーストジョイ特別賞 同時受賞。



■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】 栃木県オリジナルあじさい「きらきら星」を超える、八重咲きで複色のあじさいの育成を目的として交配を重ねました。花卉の中心部が淡いピンク色で外側に向かって白くなるグラデーションタイプの複色の装飾花を持ち、花数の多い“手まり型花序”を有する本品種を育成しました。

【開発の面白さ・今後の展開など】 あじさいは、原種やヤマアジサイなども育種素材として利用されるようになり、八重咲きや覆輪の発現の他にも花序や装飾花の形、花色の発色の違いなど多様な形質が増えています。引き続き、消費者に喜ばれる魅力的な品種を育成していきます。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔ニューバリュー特別賞同時受賞〕

アジサイ「星あつめ」島根県



受賞者：島根県
 ホームページ：<https://www.pref.shimane.lg.jp/top.html>
 育成者：島根県
 育成者権者：島根県
 審査講評：尖った装飾花をもつ八重咲き、手まり型品種。装飾花は別々のタイミングで色づき、フレッシュなグリーンから、ブルー、もしくはピンク、終盤には秋色グリーンに咲き進み、星々のきらめきを思わせる。一気に咲き揃わない性質を長所とした着眼点は評価に値する。従来のアジサイと異なり側枝の多くに着花。茎長が短くコンパクトで、支柱不要。ニューバリュー特別賞 同時受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】「星あつめ」は「かわいさ」をキーワードに、また、色は元気のでるビビットな色を目標に品種改良し、小輪多花の八重咲きアジサイを開発しました。コンパクトな中にも華やかさがあり、室内のどこに置いても映える存在感を兼ね備えています。

【開発の面白さ・今後の展開など】「星あつめ」は、すべての枝・芽に花がつく、今までのどのアジサイにもないにぎやかな特徴があります。品種改良を続けていると、このように植物の側から予想を大きく超える手をさしのべてくれることがあります。島根県はこれからも、植物と手を取り合って美しいお花をお届けします。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔ライフデザイン特別賞同時受賞〕

ペチュニア「ティーパーティールナ」桂楓園（高山農園）



受賞者：桂楓園（高山農園）（埼玉県）
 育成者：高山晃
 育成者権者：高山晃
 審査講評：

「ペチュニア ロイヤルミルクティー」を母親にした、直径9cmほどの大輪八重咲き品種。ニュアンスカラーのゴージャスな花が美しく、ペチュニアファンでなくとも誰にでも好まれそう。分枝がよく多花性で、大きくなっても草姿が乱れず株が割れにくいので、初心者でも手間なく大株に仕立てることができるだろう。ほぼ四季咲き性で花持ちもよい。ライフデザイン特別賞 同時受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】過去に育成した人気品種「ロイヤルミルクティー」を使用して八重品種を作出し、その中から選抜しました。大輪で多花性、そして分枝性よく、春先であれば、1ポットで矮化剤を使用せずこんもりと大きく仕上がります。初心者でも見事な鉢物が出ます。

【開発の面白さ・今後の展開など】ペチュニアは、交配し半年後には新しいペチュニアと出会えます。交配後のペチュニアの蕾が上がり咲くまでの期間、その咲く花を想像し、ワクワク過ごせます。最も、およそ一万粒の種を播いて、特殊な方法でその中から数品種を選ぶという大変さもあります。

ベスト・フラワー（優秀賞）[モーストジョイ特別賞・ブリーディング特別賞同時受賞・
モニター特別賞（秋）]

シクラメン「チモ ローゼス ライトピンク」(有)矢祭園芸



受賞者 : (有)矢祭園芸(福島県)
ホームページ : <https://ysflower.jp/Y's flower>
育成者 : 金澤 美浩
審査講評 : グリーンからミルキーピンク～ピンクに変化する万重咲きのシクラメン。2020年の「フラワー・オブ・ザ・イヤー」の「ローゼスピンクバイカラー万重EX」より、つぼみのグリーンが映えてさわやかな印象。グリーンからピンクへの色の変化は珍しい。

金平糖のようなかわいらしい蕾からくす玉のように変化した花は、咲ききるまでの観賞期間が長く、形と色の変化に多くの楽しみがある。

多花性でボリュームがあり、同社の「ローゼスローズ」に比べて茎が固い方向に改良されているので、株がしっかりとした印象がある。ベスト・フラワー（優秀賞）・モーストジョイ特別賞ブリーディング特別賞受賞に加え、人気投票第1位でモニター特別賞も受賞。

グッドパフォーマンス特別賞

カーネーション「I♡U」(株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者 : 株式会社エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県)
ホームページ : <https://www.mbflora.co.jp/>
育成者 : Selecta
育成者権者 : 株式会社 エム・アンド・ビー・フローラ
審査講評 : ローズ色～ピンク色～桜色～白と変化する花色が美しく、1鉢でグラデーションが楽しめる。小輪ながら多花性でゴージャス。花持ちよく、四季咲き性と耐暑性に優れ長期間楽しめる。株姿もコンパクトにまとまっている。
グッドパフォーマンス特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】一株からローズ・ピンク・桜色・白と花色が変化するカーネーション。花持ちが良く花色の変化が楽しめる商品を作りたいという思いから開発が始まった。耐暑性・耐寒性に優れ、初春から晩秋まで製品の出荷が可能。

【開発の面白さ・今後の展開など】四季咲き性に優れ、色変わりする為、一鉢で様々な表情が楽しめます。今後は色変わりする他の花色でも育種を進めている。

ニューバリュー特別賞

シクラメン「ウインク シャワーハート」(有) さかもと園芸



受賞者 : (有)さかもと園芸 (群馬県)
ホームページ : sakamotoengei.com
育成者 : 坂本ティームチャイ
審査講評 : 華やかでボリュームのある万重咲きで、明るいバイカラーのコントラストが美しいウインクシリーズの新品種。同じウインクシリーズの「シャワーレッド」に比べ、花の色が鮮やかにうなっている。星型にも見える蕾は、ゆっくりと開き、開花までのワクワクした感覚が長く楽しめる。ニューバリュー特別賞受賞。人気投票では第4位入賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】万重咲きで、花が咲くまでとても時間がかかり、長く持つ。蕾の状態でも1か月近く持つので、コロナで家にいる時間が長い中、蕾が多くあるので、これから咲くというワクワク感を楽しんでもらいたい。

【開発の面白さ・今後の展開など】「ウインク ハート シリーズ」はシャワーハートの他にピンクハートがある。これから安定生産を出来るようにする他に、ホワイトハート、レッドハートなど、色目を増やしていきたい。

ニュースタイル特別賞

シクラメン「オートジャイロ」(有) さかもと園芸



受賞者 : (有)さかもと園芸 (群馬県)
ホームページ : sakamotoengei.com
育成者 : 坂本ティームチャイ
審査講評 : プロペラのように広がる花卉が新しいシクラメン。少しひねりのかった花卉は、ループリボンが舞うような軽やかなリズムを感じる。ペールホワイトの花色も好印象で、葉のグリーンとのコントラストが良く映える。新たな用途を提案したくなる。ニュースタイル特別賞受賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】今までのトラディショナルな形と全然違う、何か面白いシクラメンに見えないシクラメンをデザインしてみたいと思った。の花弁の展開と違い、5枚全てが水平に開いて咲いているところが特徴であり、名前の由来である。

【開発の面白さ・今後の展開など】花卉がプロペラ型に広がっていて白い色がヘリコプターをイメージさせたが、販売を考えると他の色展開も必要だと考えている。

ニュースタイル特別賞

シクラメン「チモ ブルー」(有)矢祭園芸



- 受賞者 : (有)矢祭園芸(福島県)
ホームページ : <https://ysflower.jp/Y's flower>
育成者 : 金澤 美浩
審査講評 : 八重咲きの花形と耐寒性を両立させた、チモシリーズのブルーの新品種。ブルー系品種が増えて来た中で、暖かみのあるブルーは存在感抜群で、ワンランク上の高級感のあるギフトにも向く。
八重ならではの複雑さのある花型、下の部分がカールしてスマイルの花のようにも見える。
ニュースタイル特別賞受賞。

ライフデザイン特別賞

ファレノプシス「コロンボ」(有)椎名洋ラン園



- 受賞者 : (有)椎名洋ラン園(千葉県)
ホームページ : <https://sheena.ranran.co.jp/>
育成者 : (有)椎名洋ラン園
育成者権者 : (有)椎名洋ラン園
審査講評 : 白い花弁に濃紅色のスプラッシュ、リップ先端い黄色が入る斬新さでとても人目を惹く。強健で花もちもよく、3～4 か月咲き続ける。株姿もバランスがよくコンパクト。
和のテイストも感じられるが、見方を変えるとシンプルで温かみのある北欧スタイルのような家具にもマッチするかもしれない。ライフデザイン特別賞受賞。

ニューバリュー特別賞

ファレノプシス「氷晶」アイファーマーグループ蘭工房



受賞者：アイファーマーグループ蘭工房（愛知県）
 育成者：服部健治
 育成者権者：服部健治
 審査講評：

透明感のある純白のファレノプシス。ビッグリップには色が乗らない分、清潔感と美しさが際立っている。花並び、花もちともに優れ、ボリュームがあるしまった草姿が素晴らしい。

ヒューネラルのほか、切花としてウェディングブーケに使用したい。オリジナリティのある鉢での見せ方もインテリア感があり好印象。とっておきの贈り物としても提案できる魅力たっぷりの品種。ニューバリュー特別賞受賞。人気投票では第5位入賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】御祝はもちろん、お供え花としても広く対応できるホワイト系の品種改良を続けるうちに中心のリップのみならずその周りにも透き通るようなビュアなミディホワイトが完成しました。花の並びや花持ちも多品種に比べ優れておりまた、育成においても出荷までのリードタイムが短く回転率にも長けています。

【開発の面白さ・今後の展開など】切り花としても対応できるような育成法を開発しこの品種に類似した他色も継続して育種開発を行っていききたいと思います。さらに市場性に富んだ胡蝶蘭を今後も提案していきたいと考えます。

カラークリエイト特別賞・グッドパフォーマンス特別賞・ジャパンデザイン特別賞

ファレノプシス「ラスベガス」(有) 椎名洋ラン園



受賞者：(有) 椎名洋ラン園(千葉県)
 ホームページ：<https://sheena.ranran.co.jp/>
 育成者：Anthura社
 育成者権者：(有) 椎名洋ラン園
 審査講評：

これまでのゴールドよりやや赤みが入った色のミディファレノ。ウインターシーズンによく合う暖かみと味わいのあるカラーで人目を惹く。株はコンパクトで強健、花弁が厚くしっかりしている。

カラークリエイト特別賞、グッドパフォーマンス特別賞に加え、和の美意識も感じることからジャパンデザイン特別賞 同時受賞。

ニュースタイル特別賞・ライフデザイン特別賞

ファレノプシス「ラテ」(有)椎名洋ラン園



受賞者 : (有)椎名洋ラン園(千葉県)
ホームページ : <https://sheena.ranran.co.jp/>
育成者 : (有)椎名洋ラン園
育成者権者 : (有)椎名洋ラン園
審査講評 : ファレノプシスでは珍しい淡クリーム色の小輪。多花性で3か月以上開花する。



ギフトにはもちろん、コンパクトなので置く場所を選ばず、ホームユースにも向く。花の向きがランダムな四方見に仕立てられているところが新しい。置く場所を選ばず、新規性に富み、本品目の楽しみ方、可能性を広げてくれている。ニュースタイル特別賞、ライフデザイン特別賞 同時受賞。人気投票では第2位に入賞。

カラークリエイト特別賞・ジャパンデザイン特別賞

シクラメン「Shedenmoon (シーデンモーン)」(有)さかもと園芸



受賞者 : (有)さかもと園芸(群馬県)
ホームページ : sakamotoengei.com
育成者 : 坂本ティアムチャイ
審査講評 : アンティラオ シリーズの1品種。大輪丸弁で、バランスのよい株姿も美しい。マットで落ち着いた雰囲気のある濃いワインカラーで高級感がある。



既存のパステル系品種とは一線を画し、アンティークタッチにも和モダンにもどちらにも提案できる素晴らしい品種。カラークリエイト特別賞、ジャパンデザイン特別賞 同時受賞。人気投票では第2位に入賞。

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】今までになかった落ち着いた雰囲気のアースカラーで、さかもと園芸の特徴である丸弁で花が大きいシクラメンを作りたい。今の時代に合ったアンティーク色で、飾り方によっては日本の伝統的な和の雰囲気もかもしだせるオールマイティーな新しいシクラメンである。

【開発の面白さ・今後の展開など】「アンティラオ シリーズ」として落ち着いた雰囲気のアンティーク色のシリーズを増やしていきたい。今はShefa(シィファー)、Shemon(シィーモン)、Shedenmoon(シィーデンモーン)の3色がある。

6/29撮影



受賞者：タキイ種苗(株)(京都府)
ホームページ：<https://www.takii.co.jp>

育成者：タキイ種苗(株)

育成者権者：タキイ種苗(株)

観察期間：2021年5月24日～10月12日

審査講評：草丈が40～50cmほどのニーハイサイズの矮性種のジギタリス。花色は発色の良いピンク色でブロッチが入る。

ハイブリッドタイプで、下方からも側枝がよく上がる性質に優れ、1株でもたくさんの花を立ち上げる。春に定植し、夏にやや花数が減ったものの、秋になりまた開花数が増えており、連続開花性を確認できた。種子ができないため花もちも良い。

支柱を添えずに管理ができるので、植栽地を選ばず、個人消費以外の活用も見込める。株も乱れず他の植物とも合わせやすく様々な活用が期待できる。

8/3撮影



屋根付き施設



▲2021/5/27
(定植後10日)



▲2021/6/24
(定植後38日)



▲2021/7/8
(定植後52日)



▲2021/8/5
(定植後80日)



▲2021/8/20
(定植後95日)



▲2021/9/14
(定植後120日)

露地花壇



▲2021/5/28 (定植後11日)



▲2021/6/22 (定植後36日)



▲2021/8/3 (定植後78日)



▲2021/9/28 (定植後134日)

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】夏の暑さにも強く、従来のジギタリスのイメージを覆す品種特性を持ったF₁パンサーです。雄性不稔で種子が付かず、連続開花性が抜群。長い期間楽しめるのが特徴です。海外ではボーダーガーデンで採用される品目ですが、F₁パンサーは草丈が大きくなり過ぎず、日本国内の栽培にも適する品種として育成しました。

【開発の面白さ・今後の展開など】国内での栽培が難しいニッチな品目でも、育種が進んでいくと国内でも高いパフォーマンスを示す品種が出てきます。潜在的なニーズの掘上げと併行して、用途幅の拡大に向けて品種改良に注力していきます。

ガーデニング部門
 フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2021
 株式会社 エム・アンド・ビー・フローラ
 ペラルゴニウム「レッドエクスプロージョン」



8/3撮影



8/3撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
 (山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：Toscana Breeding B.V.

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2021年5月17日～9月9日

審査講評：耐暑性に富んだ種間交雑種のゼラニウム。濃い赤色が引き立つ。花弁が落ちにくいので従来品種より扱いやすく、安心して花壇に植えられる。耐暑性に富み、夏の間も連続開花しており、高温障害も出ていなかった。切り戻さなくてもコンパクトにまとまる。また、切り戻してもしっかり蕾をつけ、植栽地に合った草丈にコントロールできるのもよい。



屋根付き施設



▲2021/5/27（定植後10日） ▲2021/6/22（定植後36日）

▲2021/8/5（定植後80日）

▲2021/8/31（定植後106日）



露地花壇



▲2021/5/28（定植後11日） ▲2021/6/22（定植後36日）

▲2021/8/3（定植後78日）

▲2021/9/2（定植後108日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】高温多湿な条件下でも連続開花性に優れ、初夏から秋まで長く楽しめる商品を作りたいという思いから開発が始まった。

【開発の面白さ・今後の展開など】株はコンパクトで矮化剤の使用が少なく済み、ピンチ回数も1回程度で分枝と花上がりが優れている。夏の高温期は葉が白化してしまうことの多いゼラニウムだが、こちらの商品は高温障害を受けにくく連続開花性に優れているのが大きな特徴であり、日本のマーケットでも大いに期待が持てる商品である。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

ビオラ「クイックタイム イエローブルージャンプアップ」
（株）エム・アンド・ビー・フローラ

4/25撮影



受賞者：（株）エム・アンド・ビー・フローラ
（山梨県）

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：Pan AmericanSeed

育成者権者：Pan AmericanSeed

観察期間：2020年12月8日～2021年5月25日

審査講評：低温・短日期でも開花が途切れず、寒さや乾風による株の傷みもなかった。株のまとまりもよく、花数も多く、花がらも目立たず、連続開花性も見事。



同時に出品された「クイックタイム ミッキー」より茎が太くがっちりとした株で、やや立ち性。株張りも良かった。花型や花色の新規性という点での評価はあまりないが、花色の濃淡のばらつきもなく、冬花壇を明るくしてくれる色あいには好印象。

5月末まで観察したが、抜き取り間際まで株の揃いが良いので、商業施設などの植栽にもおすすめ。一般の消費者にも花壇、寄せ植え、ハンギングバスケット等、用途を選ばず推奨できる。ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時に受賞。

4/25撮影



4/13撮影



屋根付き施設



▲2020/12/10
（定植後2日）

▲2021/2/16
（定植後70日）

▲2021/3/16
（定植後98日）

▲2021/4/13
（定植後126日）

▲2021/4/27
（定植後140日）

露地花壇



▲2020/12/10（定植後2日）

▲2021/2/16（定植後70日）

▲2021/4/13（定植後126日）

▲2021/5/11（定植後154日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】低温・短日条件下でも花上がりが良く、連続開花性に優れた商品を作りたいという思いから開発が始まった。

【開発の面白さ・今後の展開など】一般的な品種と比べて1～2週間開花が早く、省力栽培が可能。9cm,10.5cmポットどちらの生産にも向いている。基幹色をはじめ、他の花色でも育種を進めている。

ベスト・フラワー（優秀賞）[グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]

マーガレット「マックスママ 朝焼けピンク」サントリーフラワーズ（株）

6/29撮影



受賞者：サントリーフラワーズ（株）（東京都）

ホームページ：<https://suntory.jp/FLOWER>

育成者権者：サントリーフラワーズ（株）

観察期間：2021年3月18日～6月29日

審査講評：3月に定植し、6月末の観察終了時にもまだ十分に観賞価値のある状態。マーガレットとしては長い期間楽しめる。一輪一輪の花も大きく、花粉が出ないため長く咲いていた。

株は立ち性で旺盛に生育し、花茎に高低差がついて開花するため、株全体としてはブーケのような雰囲気仕上がる。

花色は蕾の赤、開花時のレモン色、咲き進んでピンクが濃くなり、最後にはやや白っぽく変化する。開花の状態で見え方が異なるので、1株の中に様々な色が朝焼けのグラデーションのようにも見える。鮮明な色ではなく、見方によっていろいろな花色に見えるのも楽しい。

花がらが気にならず、株元の枯れ上がりもなく、常に良い状態に見える。安心してお勧めできる品種。ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞を同時に受賞。



5/11撮影

屋根付き施設



▲2021/3/30
（定植後12日）



▲2021/4/27
（定植後40日）



▲2021/5/11
（定植後54日）



▲2021/5/27
（定植後70日）



▲2021/6/10
（定植後84日）

露地花壇



▲2021/3/30（定植後12日）



▲2021/5/11（定植後54日）



▲2021/5/28（定植後71日）



▲2021/6/10（定植後84日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】マックスママの色変わりシリーズの「朝焼けピンク」です。

レモン色で咲き始め、やがてピンクが濃くなり、その後白みがかかる朝焼けを思わせる花色が特徴です。1株で大きくまとまる咲き姿と色変わりする花卉がとても魅力的な品種です。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

ペチュニア「ビーズニーズ」（株）エム・アンド・ビー・フローラ



6/29撮影

受賞者：（株）エム・アンド・ビー・フローラ
（山梨県）

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：（株）エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2021年5月17日～9月9日

審査講評：これまでになく鮮明な濃イエローの花色が、夏のガーデンに爽やか。多花性で連続開花性に富み退色しにくい、花がらが少し目立つ。従来の黄色系品種のなかでもとくに耐暑性、耐雨性に優れ、コンテナ植えでもガーデンにも利用できる。草姿もバランスがよい。夏は下葉の枯れが気になった。最近のレモンカラーブームに乗せてアピールしてみたい。ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞 同時受賞。



6/29撮影



屋根付き施設



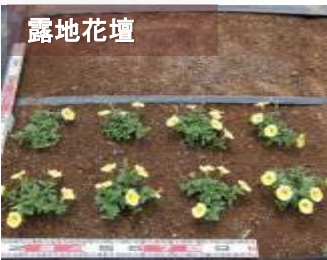
▲2021/5/27
（定植後10日）

▲2021/6/10
（定植後24日）

▲2021/6/22
（定植後36日）

▲2021/7/19
（定植後63日）

▲2021/8/20
（定植後95日）



露地花壇



▲2021/5/28（定植後11日）

▲2021/6/8（定植後22日）

▲2021/6/22（定植後36日）

▲2021/7/19（定植後63日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】 他品種にはないイエローゴールドのペチュニアを作りたいという思いから開発が始まった。花色は安定度が高く、気候条件によつての変色はない。耐暑性が高く、多花性で連続開花性に優れている。

【開発の面白さ・今後の展開など】 鉢に単体で植えて楽しむことはもちろんのこと、寄せ植えのワンポイントとしてもご活用いただければ、一気に明るく華やかな演出が可能となるとっておきの品種。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔モーストジョイ/ライフデザイン/カラークリエイト
特別賞 同時受賞〕

カリブラコア「チャチャ ディーバ アプリコット」

（株）エム・アンド・ビー・フローラ



6/29撮影



6/29撮影



受賞者：（株）エム・アンド・ビー・フローラ
（山梨県）

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：（株）エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2021年5月17日～9月9日

審査講評：咲き進むとともにソフトピンクからオレンジ色に花色が変化する。新奇性のある花色がかわいらしくにぎやか。多花性で連続開花し、夏でも花数が減らず、花色変化も安定して発現する。同社のシャル・ウィ・ダンス・シリーズに比べると大型で広がるため、花壇や大鉢向けとされているが、ドーム状に茂ってコンパクトによくまとまり、草姿も均一に揃っている。ベスト・フラワー（優秀賞）とともにモーストジョイ特別賞、ライフデザイン特別賞、カラークリエイト特別賞の3つの特別賞も同時受賞。



屋根付き施設



▲2021/5/27
（定植後10日）



▲2021/6/10
（定植後24日）



▲2021/6/22
（定植後36日）



▲2021/7/19
（定植後63日）



露地花壇



▲2021/8/20
（定植後95日）



▲2021/5/28（定植後11日）



▲2021/6/8（定植後22日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】シャル・ウィ・ダンス・シリーズに比べて約25%大柄でやや横に広がる草姿。これまでにない花壇や大鉢向けとして存在感を発揮する商品を作りたいという思いから開発が始まった。

【開発の面白さ・今後の展開など】節間が詰まっているためまとまりが良い。シリーズ間の開花・草姿の揃いが良く、ミックス出荷が可能。

今後も新しい花色が続々と登場予定。

ベスト・フラワー（優秀賞）

ペチュニア「YES！ピंकスマイル」（株）エム・アンド・ビー・フローラ



6/29撮影



6/29撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：(株)ミヨシ

育成者権者：(株)ミヨシ

観察期間：2021年5月17日～9月9日

審査講評：濃いベインと白のぼかしが入る花色は発色がよく新奇性があり、気候の影響を受けにくく花色が安定している。多花性で、遠目で見たときと近くで見たときの印象が変わるのもよく、目の高さで観賞されるハンギングバスケット、コンテナガーデンによい。株張りも非常に良く、株元からの分枝性もあり、小輪の花をドーム状に多数着ける。耐暑性に優れ、花壇でも十分な存在感がある。ベスト・フラワー（優秀賞）受賞。



屋根付き施設



▲2021/5/27（定植後10日）▲2021/6/10（定植後24日）

▲2021/6/22（定植後36日）

▲2021/7/20（定植後64日）



露地花壇



▲2021/5/28（定植後11日）▲2021/6/8（定植後22日）

▲2021/6/22（定植後36日）

▲2021/7/19（定植後63日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】同シリーズのイエローと対になるような初心者でも手間をかけずに安心して栽培が可能な商品を作りたいという思いから開発が始まった。

【開発の面白さ・今後の展開など】花色は気候の変化でも変わらず安定している。

耐暑性に優れ、特に花壇植えてその力が実感できる。

今後も同シリーズのコンセプトに見合う品種の育種を進めている。

ベスト・フラワー（優秀賞）[モーストジョイ/グッドパフォーマンス/
フォトジェニック特別賞 同時受賞]

ペチュニア「ラブリーアイ」タキイ種苗（株）



6/29撮影

受賞者：タキイ種苗(株)(京都府)
ホームページ：<https://www.takii.co.jp>
育成者：タキイ種苗(株)
育成者権者：タキイ種苗(株)
観察期間：2021年5月24日～9月9日
審査講評：中心にチェリーレッドのアイが入るピンキーホワイトの花色がかわいらしい、多花性の中輪品種。ピンクの花色と青紫色の花粉のコントラストがよい。耐暑性、耐雨性に優れ、夏でも退色しない。分枝性に富み、従来品種よりも立体的にふんわりと茂り、株が割れにくい。花壇植えでは1株で直径1mほどに力強く生育する。ベスト・フラワー(優秀賞)と同時にモーストジョイ特別賞、グッドパフォーマンス特別賞、フォトジェニック特別賞の3つの特別賞も同時受賞。



8/3撮影



屋根付き施設



▲2021/5/27（定植後10日） ▲2021/7/8（定植後52日） 7/12摘芯 ▲2021/7/20（定植後64日） ▲2021/8/5（定植後80日）



露地花壇



▲2021/5/28（定植後11日） ▲2021/6/22（定植後36日） ▲2021/7/19（定植後63日） ▲2021/8/31（定植後106日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】ラブリーアイは生育旺盛な繁茂型のペチュニアであり、株中心部の花付きも良好。赤芯+ライトピンクの可愛い花色に加え、耐雨性や耐暑性も付与。花壇植えすると1m四方に広がるため、植栽など幅広い用途で選んでいただける品種です。

【開発の面白さ・今後の展開など】花壇や鉢物の定番アイテムとなっているペチュニアですが、春から夏にかけては梅雨や高温等、植物にとって過酷な環境下で栽培することになります。今後はさらに色幅を増やしつつ、厳しい環境下でも高い栽培性を発揮できる品種を育成していきます。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

エボルブス「ブルーラグーン」（株）ハクサン



8/3撮影

受賞者：（株）ハクサン（愛知県）
ホームページ：<https://hakusan1.co.jp>
育成者：Win Gen
育成者権者：J&Hジャパン
観察期間：2021年5月24日～10月12日
審査講評：

従来品種に比べて、分枝性に富んでいる。節間が詰まって枝の伸びが抑えられているので、花が目立ちやすい。コンパクトにまとまりながらまんべんなく開花していた。高温期にやや花数は減ったが、株元の枯れもなく、丈夫でありグランドカバーとしても使える。

ベスト・フラワー（優秀賞）、グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞。



7/6撮影

屋根付き施設



▲2021/5/27
（定植後3日）



▲2021/6/22
（定植後29日）



▲2021/7/20
（定植後57日）

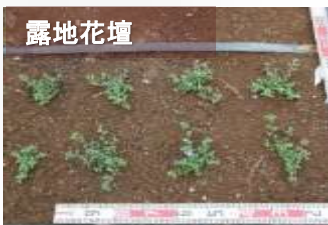


▲2021/8/20
（定植後88日）



▲2021/10/12
（定植後141日）

露地花壇



▲2021/5/28（定植後4日）



▲2021/7/19（定植後56日）



▲2021/8/31（定植後99日）



▲2021/10/12（定植後141日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】エボルブスは数ある花の中でも本当の青と言えるきれいな花色をしています。元々暑さに強く、近年の猛暑にも耐えられる重要な植物です。しかし、分枝や株張り、花つきは課題が多くあり、ブルーラグーンは種間交雑によりそれらを改良しました。

【開発の面白さ・今後の展開など】ブルーラグーンのコンセプトを維持しながら、夏に爽やかな色合いが楽しめるよう色幅の拡大に挑戦していきます。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス/ライフデザイン/
フォトジェニック特別賞 同時受賞〕

ゴンフレナ「ラブラブラブ」（株）ハクサン



受賞者：(株)ハクサン(愛知県)
ホームページ：<https://hakusan1.co.jp>
育成者：PWNA
育成者権者：J&Hジャパン
観察期間：2021年5月24日～10月12日
審査講評：分枝性と連続開花性に非常に優れた多花性のゴンフレナ。発色の良い花は、花もちがよく、花がらが目立たない。ニーハイの草丈で、定植早期からボリュームが出る。適切なタイミングで切り戻すと、バランスよい草姿を保てる。切り花やドライフラワーにも利用でき、摘み取りを楽しむ花壇など楽しみが広がる。

ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞、ライフデザイン特別賞、フォトジェニック特別賞の3賞も同時受賞。



▲2021/5/27（定植後3日）



▲2021/7/8（定植後45日）



▲2021/8/5（定植後73日）



8/20摘芯 ▲2021/10/12（定植後141日）



▲2021/5/28（定植後4日）



▲2021/7/19（定植後56日）



▲2021/9/14（定植後113日）



▲2021/10/12（定植後141日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】ゴンフレナは乾燥や高温、直射日光に強く、栽培が簡単な植物です。ラブラブラブではそれらの良い特徴に加えて分枝性を大幅に改良し、地植えでも鉢植えでもボリュームが出て、非常にローメンテナンスに楽しめる品種となりました。

【開発の面白さ・今後の展開など】ローメンテナンスに管理ができ、初心者でも満足いただける、でも手を加えればしっかりと応えてくれる品種を引き続き開発していきます。

ベスト・フラワー（優秀賞）〔グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞〕

ユーフォルビア「ダイヤモンドスノー」（株）ハクサン



8/3撮影



10/12撮影

受賞者：(株)ハクサン(愛知県)
ホームページ：<https://hakusan1.co.jp>
育成者：Birgit Hofmann
育成者権者：J&Hジャパン
観察期間：2021年5月24日～10月12日
審査講評：生育旺盛で、高温期でも白さをキープできる八重咲き品種。開花が早く多花性で、生長期にも花が止まることなく、草姿のバランスもよくこんもり株がまとまる。

花壇だけではなく、コンテナ植えやハンギングバスケットでも活用できそう。ふんわりとした存在は脇役と捉えられがちだが、主役に利用できるだろう。ベスト・フラワー（優秀賞）、グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞。



▲2021/5/27
(定植後3日)



▲2021/6/22
(定植後29日)



▲2021/7/20
(定植後57日)



▲2021/9/14
(定植後113日)



▲2021/10/12
(定植後141日)



露地花壇



▲2021/7/6 (定植後43日)



▲2021/9/14 (定植後113日)



▲2021/10/12 (定植後141日)

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】ダイヤモンドスノーは今や世界中のガーデナーに親しまれているダイヤモンドフロスト、ダイヤモンドスターに続く、八重の最新品種です。八重でありながら生育力が高く、簡単な管理で真っ白な苞が一面に展開する姿をお楽しみいただけます。

【開発の面白さ・今後の展開など】酷暑、乾燥に強く、ローメンテナンスな品種を開発しており、まさにダイヤモンドスノーもその一つとなります。PWグループから今後も色々と紹介していきますのでご期待ください。

グッドパフォーマンス特別賞

ビオラ「クイックタイム ミッキー」 (株)エム・アンド・ビー・フローラ



4/20撮影



4/13撮影



4/20撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：Pan AmericanSeed

育成者権者：Pan AmericanSeed

観察期間：2020年12月8日～2021年5月25日

審査講評：低温・短日でも開花が途切れず、寒さや乾風による株の傷みもなかった。花茎も株より上に立ち上がり、花の咲き終わりも目立たない。株のまとまりもよく、花数も多く、連続開花性が見事なのは、同時に出品されたクイックタイムイエローブルージャンプアップと同様。

ミッキーは、イエロージャンプアップに比べると株割れが見られたが、花弁に厚みがあり花弁の傷みが少ない点は優れていた。

5月末まで観察したが、抜き取りのころまで花が小さくならないのも高評価。

花壇、寄せ植え、ハンギングバスケット等、用途を選ばず推奨できる。グッドパフォーマンス特別賞受賞。



屋根付き施設



▲2021/3/4
(定植後86日)



▲2021/3/30
(定植後112日)



▲2021/4/27
(定植後140日)



▲2021/5/11
(定植後154日)



露地花壇



▲2021/2/16 (定植後70日)



▲2021/3/30定植後112日)



▲2021/5/11 (定植後154日)

▲2020/12/10 (定植後2日)

■受賞者コメント(「クイックタイム イエローブルージャンプアップ」と「クイックタイム ミッキー」共通コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】低温・短日条件下でも花上がりが良く、連続開花性に優れた商品を作りたいという思いから開発が始まった。

【開発の面白さ・今後の展開など】一般的な品種と比べて1～2週間開花が早く、省力栽培が可能。9cm,10.5cmポットどちらの生産にも向いている。基幹色をはじめ、他の花色でも育種を進めている。

グッドパフォーマンス特別賞

ペチュニア「サフィニア JAPANレッド」 サントリーフラワーズ（株）



受賞者：サントリーフラワーズ（株）（東京都）

ホームページ：<https://suntory.jp/FLLOWER>

育成者権者：サントリーフラワーズ（株）

観察期間：2021年4月19日～8月20日

審査講評：深みのある真紅の花色は気品と存在感がある。花芯周辺の紫色がかった濃い赤色がポイントになり、離れて見ても新しさを感じる。

株元からよく分枝して花首が短く、株もよくまとまる。夏も退色せずに花が咲き続けるが、花壇植えでは株自体の傷みがやや気になった。株が乱れることなくドーム状にきれいにまとまるタイプでもあるので、どちらかという軒下で栽培するコンテナ植え向く。切り戻し有り/無しの両方で比較したところ切り戻しを行わなくても良く咲いていた。グッドパフォーマンス特別賞受賞。



屋根付き施設



▲2021/4/27
（定植後8日）



▲2021/5/27
（定植後38日）



▲2021/7/8（定植後80
日）7/12ピンチ



▲2021/7/20
（定植後92日）



▲2021/8/5
（定植後108日）

露地花壇



▲2021/4/27（定植後8日）



▲2021/5/28（定植後39日）



▲2021/6/8（定植後50日）



▲2021/6/22（定植後64日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】長年親しまれているサフィニアシリーズの中輪タイプの品種です。綺麗にまとまる草姿と、深みのある赤色の花弁が特徴でその中心部はさらに濃くなります。

グッドパフォーマンス特別賞

ペチュニア「サフィニアアート いちごシェイク」 サントリーフラワーズ（株）



6/29撮影



8/3撮影

受賞者：サントリーフラワーズ（株）（東京都）
ホームページ：<https://suntory.jp/FLLOWER>

育成者権者：サントリーフラワーズ（株）

観察期間：2021年4月19日～8月20日

審査講評：白覆輪とさくら色が涼しげな今までにない色目。生育は旺盛で、花数も多く、グランドカバーなどにも利用できそう。少し株の高さが揃わないところもあるが、自然風に見えてよいという評価もあった。

肥料の効き具合でも花色が変化するという点は、花色が様々なパターンへの変化を楽しめるとするか、花色の抜けととるかで見方も変わる。7月中旬にピンチをしたところ、生育旺盛なためにやや乱れ気味だった草姿もドーム状に、また退色もきれいに回復した。ピンチをしない露地花壇も今年の猛暑に枯れ上がることもなく生育を続けたので、株の丈夫さは良く確認できた。

用途や好みによって適切な手入れをして、露地でもコンテナでも様々な楽しめる品種。グッドパフォーマンス特別賞受賞。



▲2021/4/27
（定植後8日）



▲2021/5/27
（定植後38日）



▲2021/7/8（定植後80日）
7/12摘芯



▲2021/7/20
（定植後92日）



▲2021/8/5
（定植後108日）



▲2021/4/27（定植後8日）



▲2021/5/28（定植後39日）



▲2021/6/8（定植後50日）



▲2021/6/22（定植後64日）

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】サフィニアアートシリーズの「いちごシェイク」です。花弁はさくら色に白い縁取りが入り、花色はピンクから白色の様々なパターンに変化します。生育がとても旺盛で、1年に何度も満開を楽しめる商品です。

カラークリエイト特別賞

カリブラコア「ミリオンベル プチホイップ ラムレーズン」サントリーフラワーズ（株）



受賞者：サントリーフラワーズ（株）（東京都）

ホームページ：<https://suntory.jp/FLORER>

育成者権者：サントリーフラワーズ（株）

観察期間：2021年4月19日～8月20日

審査講評：バイオレットから淡いピンクのグラデーションが個性的なニュアンスカラー。花弁が多すぎず、八重がしっかりとし、色の特徴を良く表現している。

多花性で、連続開花性に富む。生育スピードは緩やかで、ボリュームは出にくいので、コンテナでの寄せ植えやハンギングバスケットなどに向くだろう。露地花壇では株張りが弱かったが、この品種の特徴であるシックな花色は、炎天下の花壇で見ると、軒下のほうが魅力が増すようにも思われる。コンテナで、切り戻しをした株は、盛夏でも美しかった。カラークリエイト特別賞 受賞。



8/3撮影



9/9撮影



展相付き施設

▲2021/4/27
（定植後8日）



▲2021/5/27
（定植後38日）



▲2021/7/8（定植後80日）7/12摘芯



▲2021/7/20
（定植後92日）



▲2021/8/5
（定植後108日）



露地花壇



▲2021/4/27（定植後8日）

▲2021/5/28（定植後39日）

▲2021/6/8（定植後50日）

▲2021/6/22（定植後64日）

■受賞者コメント（ミリオンベル プチホイップ共通）

【開発の経緯・コンセプトなど】ミリオンベルの八重シリーズ「ミリオンベル プチホイップ」の2021年の新色3品種です。まるでホイップクリームのような花弁の形とユニークな花色が特徴です。きれいにまとまる草姿と可愛らしい花色が魅力的な商品です。

カラークリエイト特別賞

カリブラコア「ミリオンベルプチホイップ マーマレード」サントリーフラワーズ（株）



6/29撮影

受賞者：サントリーフラワーズ(株)（東京都）

ホームページ：<https://suntory.jp/FLLOWER>

育成者権者：サントリーフラワーズ(株)

観察期間：2021年4月19日～8月20日

審査講評：赤色からオレンジ色のグラデーションが美しい人気の色目。同シリーズのラムレーズンと同じく、すっきりとした重なりが少ない八重なので、中心部の濃い色ははっきりと見える。個性的だが、他の植物との合わせやすさもあるところも魅力。

生育は緩やか、草姿はコンパクト。露地花壇では、夏に多少傷んで花数も減るが、切り戻せば回復する。寄せ植えやハンギングバスケットなどでも使い勝手がよさそう。近くで見るほうが、花型や花色の個性が楽しめる。適宜切り戻しをするとより楽しめることもアウンスしたい。カラークリエイト特別賞 受賞。



8/3撮影



屋根付き施設



▲2021/4/27
（定植後8日）



▲2021/5/27
（定植後38日）

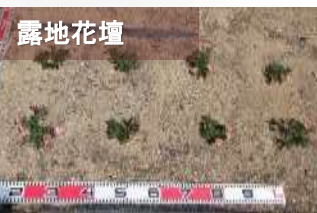


▲2021/7/8
（定植後80日）7/12摘芯



▲2021/7/20
（定植後92日）

▲2021/8/5
（定植後108日）



露地花壇



▲2021/4/27（定植後8日）

▲2021/5/28（定植後39日）

▲2021/6/8（定植後50日）

▲2021/6/22（定植後64日）

■受賞者コメント(ミリオンベル プチホイップ共通)

【開発の経緯・コンセプトなど】ミリオンベルの八重シリーズ「ミリオンベル プチホイップ」の2021年の新色3品種です。まるでホイップクリームのような花弁の形とユニークな花色が特徴です。きれいにまとまる草姿と可愛らしい花色が魅力的な商品です。

ライフデザイン特別賞

カリブラコア「ミリオンベル プチホイップ ストロベリー」サントリーフラワーズ（株）



9/9撮影

受賞者：サントリーフラワーズ（株）（東京都）

ホームページ：<https://suntory.jp/FLLOWER>

育成者権者：サントリーフラワーズ（株）

観察期間：2021年4月19日～8月3日

審査講評：赤色系の八重咲き複色品種。

同シリーズの中ではやや大輪。

生育もシリーズの中では一番伸びた。

個性的でありながら、誰にでも好まれるかわいらしい花色で、アクセントにもまとめ役にも利用できるだろう。高温期でも退色が見られず、この特徴的な花色をキープした。

寄せ植えにもハンギングにも最適。株の暴れを抑えるためにも、適宜切り戻して育てるとよりよいだろう。ライフデザイン特別賞受賞。



9/9撮影



屋根付き施設



▲2021/4/27
（定植後8日）

▲2021/5/27
（定植後38日）

▲2021/7/8
（定植後80日） 7/12摘芯

▲2021/7/20
（定植後92日）

▲2021/8/5
（定植後108日）



露地花壇



▲2021/4/27（定植後8日）

▲2021/5/28（定植後39日）

▲2021/6/8（定植後50日）

▲2021/6/22（定植後64日）

■受賞者コメント(ミリオンベル プチホイップ共通)

【開発の経緯・コンセプトなど】ミリオンベルの八重シリーズ「ミリオンベル プチホイップ」の2021年の新色3品種です。まるでホイップクリームのような花弁の形とユニークな花色が特徴です。きれいにまとまる草姿と可愛らしい花色が魅力的な商品です。

カラークリエイト特別賞

カリブラコア「ティフォシー DLF1811-6 (仮称)」(有) ジョルディカワムラ

4/20撮影



受賞者：(有)ジョルディカワムラ (栃木県)

ホームページ：<http://www.giardino-k.com/>

育成者：川村一徳、佐藤和規

育成者権者：川村一徳

観察期間：2021年4月19日～9月9日

審査講評：黄色→濃いサーモンピンクに黄色い筋が入るあでやかな花色。花色の変化が多色を植えたようで、とても楽しい。草丈は低めだが、花がしっかり上向きで咲いてくれる。

高温期でも退色しないが、露地花壇では株が傷んで花数がやや減り、株の中心部の花数は少ないのが気になった。どちらかと言えば、寄せ植えやハンギングバスケットなどに向くだろう。カラークリエイト特別賞受賞。

8/3撮影



6/29撮影



屋根付き施設



▲2021/4/27
(定植後8日)

▲2021/5/27
(定植後38日)

▲2021/7/8 (定植後80
日) 7/12摘芯

▲2021/7/20
(定植後92日)

▲2021/8/20
(定植後123日)

露地花壇



▲2021/4/27 (定植後8日)

▲2021/5/28 (定植後39日)

▲2021/6/8 (定植後50日)

▲2021/7/6 (定植後78日)

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】開花性能が日長や高日照の有無に左右されない品種群を目指しての開発途上品種から数点出品してみました。いろいろな表現の可能性があるので、完成時にはいくつかのシリーズを包含する大きな品種群になるものと想定しています。

【開発の面白さ・今後の展開など】世界のカリブラコア育種が花色の表現や表情の追求に走っていますが、地道に育種し、発展させることの楽しさの一例として胸を張りたいですね。

グッドパフォーマンス特別賞

カリブラコア「チャチャ ディーバフロスティレモン」

(株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2021年5月17日～9月9日

審査講評：大輪で多花性のカリブラコア。新奇性に富むさわやかな色目のレモンイエローの花はグラデーションが美しく、夏に涼しげな印象。5月下旬に定植し、1か月後にはほぼ咲きそろうという仕上がりの早さ、またその後の連続開花性も確認できた。

節間が短くコンパクトにまとまる草姿がとてもよい。やや花弁が反り返る点は少し気になった。軒下でのコンテナ栽培のほうが育てやすいかもしれない。手入れの方法やアドバイスを付けて販売するとよい。グッドパフォーマンス特別賞受賞。



▲2021/5/27 (定植後10日) ▲2021/6/10 (定植後24日) ▲2021/6/22 (定植後36日) ▲2021/7/8 (定植後52日)



▲2021/5/28 (定植後11日) ▲2021/6/8 (定植後22日) ▲2021/6/22 (定植後36日) ▲2021/7/19 (定植後63日)

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】シャル・ウィ・ダンス・シリーズに比べて約25%大柄でやや横に広がる草姿。これまでにない花壇や大鉢向けとして存在感を発揮する商品を作りたいという思いから開発が始まった。

【開発の面白さ・今後の展開など】節間が詰まっているためまとまりが良い。シリーズ間の開花・草姿の揃いが良く、ミックス出荷が可能。

今後も新しい花色が続々と登場予定。

ブリーディング特別賞・ニューバリュー特別賞

マンガベ「フレックルアンドスペckル」 (株) ハクサン



受賞者：(株)ハクサン(愛知県)
ホームページ：<https://hakusan1.co.jp>
育成者：Walters Gardens
育成者権者：J&Hジャパン
観察期間：2021年5月24日～10月12日
審査講評：マンフレダ (*Manfreda*) とアガベ (*Agave*) の属間交雑種。
葉は立体的で株の厚みが出て、力強い姿が魅力的。アガベに比べてとげが柔らかく扱いやすい。
植え込み当初はゆっくりとした生長の様に思われたが、盛夏から秋にかけて存在感が増した。耐雨性に優れ、多湿下でも株の傷みが全く見られない。霜よければ冬越しも可能。
環境に左右されず、ローメンテナンスで安定して生長することから、ドライガーデンのポイントだけでなく、使い方の提案によって人気が高まりそう。
ブリーディング特別賞、ニューバリュー特別賞同時受賞。



▲2021/5/27
(定植後3日)



▲2021/7/8
(定植後45日)



▲2021/8/5
(定植後73日)



▲2021/9/14
(定植後113日)



▲2021/10/12
(定植後141日)



▲2021/5/28 (定植後4日)



▲2021/7/6 (定植後43日)



▲2021/9/14 (定植後113日)



▲2021/10/12 (定植後141日)

■受賞者コメント

【開発の経緯・コンセプトなど】最初のきっかけは自然交配による偶然の産物でした。その後、マンフレダとアガベの組み合わせによる大きな可能性に気づき、途方もない時間と労力をかけて交配しました。ユニークな模様と高い生育力、棘の安全性などメリットの多い植物となりました。

【開発の面白さ・今後の展開など】マンガベは好奇心を刺激される植物です。これまで見たこともないような模様や造形の品種を次々と開発しているので、楽しみにお待ちください。

ご存じですか？ ジャパンフラワーセレクションのロゴマーク。

ジャパンフラワーセレクションで「入賞」に選定された品種は、「認定登録」をおこなうことにより、花の業界が推奨する品種として「ジャパンフラワーセレクション受賞マーク」をPRに活用することができます。

ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。



ポットに差し込むタグに受賞マークを使用。

HPなどで自社製品の紹介に。

カタログの商品紹介や店頭のPOPに使用。

受賞マークは、一般の消費者に向けたHPや店頭PRだけでなく、生産者向けのカタログや市場出荷用のカートンやスリーブにも幅広くご利用いただいています。インターネット通販の商品に表示することで、比較購入の際の動機づけにもご活用いただいています。

■ ジャパンフラワーセレクションの認定登録すると、用途によって使い分けられる6種類のマークをご用意

基本的なロゴマーク 日本花き取引コード（JFコード）あり 全6パターン

*JFコード無しのロゴマークも6パターンあります。



■ ジャパンフラワーセレクションの認定登録した品種が、フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）になった場合は、専用のロゴマークが使用できます。

■ その他、ジャパンフラワーセレクションの広報用のロゴ（全4パターン）もご利用になれます。

フラワー・オブ・ザ・イヤー専用ロゴ 全4パターン



■ JFS認定登録料について

認定登録には別途60,000円（税込66,000円）の認定登録料がかかります。（認定登録は任意です）

認定登録申請書にご記入の上、事務局までお送りください。

認定登録申請書の様式は、jfpc@jfpc.or.jpにご請求いただくか、ホームページから様式をダウンロードしてお使いください。

お問い合わせはこちらへ

＜ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局＞

TEL 03-3664-8739

FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp

ホームページ: <http://www.jf-selections.net>



ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、
業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へお勧めください。